

令和7年度 入学式式辞

厳しい冬を越え、確かな春の訪れを感じる本日ここに、御来賓、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和7年度入学式を挙行できますことを大変うれしく思います。

ただ今名前を呼ばれました240名の皆さんの入学を、心から歓迎します。

さて、私が新入生の皆さんにこの場でお伝えしたいのは一つだけです。

「高校に入学したら、自分の殻を破ってください。」どんな人にも生まれてから中学校3年生までの間で、自分の中で作ってきた限界があるのだと思います。勉強も部活動も友人関係も家族関係もこれからいくらかでも変化して行きます。「自分はこんな人間だ」「自分には合わない。できない。」と決めつけるのはやめてください。皆さんたちが勝手に限界を決めていただけです。

新しい生命が誕生するのは、卵が内側から雛のクチバシで壊される時です。外から壊せば、命は失われます。大切なことは「自分の力で」内側から殻を破るということです。自分で勝手に限界を決めず、新しい自分に挑戦してください。待っていても誰もあなたを変えてはくれません。これから始まる高校生活で、助けを借りても、時間がかかっても、失敗してもいいので、自分の意志で自分の力で殻を破り、自分を成長させてください。青森東高校は皆さんたちに外の世界の素晴らしさを伝え、殻を破る勇気を与え続けます。

卒業後皆さんたちが歩み出す社会は予測困難な社会です。ウクライナやパレスチナでは未だに戦いが続いています。戦後我々が作り上げてきた民主主義や自由貿易体制は大きな危機を迎えています。今なお、人類は環境破壊や温暖化の進行を止められずにいます。一方で既存の価値観の転換や、人工知能の進化によって様々な社会問題が克服されようとしています。予測困難な社会は我々の努力によって、よりよい社会にもなり得ます。世界は広く、我々が希望を持って歩む限り、未来は明るいです。あなたにしかできないことが必ずあります。世界のどこかにあなたに出会うことで救われる人が必ずいます。

在学中に自らの殻を破り、挑戦を続けてください。自分自身を誇れる何かを見つけ、他者の誇りに敬意を払い、自らが学ぶ意味を問い続けてください。それが本校で学ぶすべての人の果たすべき責任です。

新入生の皆さん。改めて入学おめでとうございます。青森東高校は皆さんたちに高いレベルでの知性と、品位ある振る舞いを求めます。同時にこれから皆さんがするであろう、多くの失敗を許容します。我々教職員もまた挑戦や失敗を繰り返しながら、皆さんとともに歩みます。

これから始まる高校生活が実り多いものであることを心から願って令和7年度入学式式辞といたします。

令和7年4月7日 青森県立青森東高等学校 校長 千葉栄美